

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 理事会議事録 (平成28年度第4回)

【日時】 平成29年2月5日(日) 18:00～22:30

【会場】 神奈川県鍼灸師会 事務所

【次第】 1、会長挨拶 2、出席確認 3、署名人指名 4、議事 5、閉会の辞

【出席14名】 理事：清水、窪田、秦、栗田、藤田、吉田、林、萱間、榊原

監事：森下、松原 相談役：千葉、日野

事務局：定成

【欠席1名】 喜島

【議長】 清水会長

【書記】 定成

【議事録署名人】 清水、森下、松原

【議題】

〔I〕報告事項

1. 会務報告(9月5日～平成29年2月5日)

・第5回、第6回業務執行理事会

・第4回、第5回かながわ鍼灸マッサージ推進協議会

秦副会長より、別紙のとおり報告があった。第5回かながわ鍼灸マッサージ推進協議会議事録は、資料に含まれていなかったため、後日提出することとした。

・第2回災害支援鍼灸師養成講座

秦副会長より、本講座に出席したと報告があった。東鍼会の高田会長や日鍼会の仲野会長の三男有草氏が出席されていたこと、JIMTEFやAMDAの現状、ネガティブリスト、DMATのコマンド&コントロールの他、心のケアについての講習もあり、より災害支援鍼灸師のあり方を感じることができ、有意義であったとのこと。

2. 各部からの報告(9月5日～平成29年2月5日)

・平成28年度市民健康講座の進捗状況について

萱間広報普及部長から、今回の講座は「横浜山手やってみよう会」と共催で行うこと、前回と同じ内容である膝痛に対する鍼灸とセルフケアであることが報告された。参加申込みが、事務局に入るので協力してほしいとの依頼があった。現在参加予定のスタッフは、秦副会長、萱間広報普及部長、石田智子会員の3名だが、追加募集をしたいとの報告(相談)があり、山手駅周辺にいる会員に直接話をしてお願いすることとなった。また以前の担当者である服部先生にも相談することとした。広告はタウンニュースのみとなり、新聞各紙には掲載しないこととした。やってみよう会へお渡しするチラシは、萱間広報普及部長が明日直接持っていくとの報告もあった。

3. 入退会の報告(9月～平成29年2月) ※前回報告済みの会員は下線

秦副会長より、2月5日現在の、会員入退会状況について、以下の通り報告があった。退会理由については、その都度、理事メールで報告がされている。

・入会14名

学生：柿澤雅彦、茂泉友香、井上晴輝、齋藤恵美、高橋宏、横山真理子

一般：小山泰正、岩崎翔平、佐藤洋平、宋 順姫、茂木佳子、大屋恵生、石田望、上田真由子

・退会6名

遠藤美咲/高齢、橋口利彰/閉院、名越優二/他県への移転、遠藤美穂/保険対応への不満、前田拓士/政治力不足への不満、藤崎舞耶/一身上の都合：代わりに茂木様が入会済み

・現在の会員数236名(内学生会員14名)

4. その他

秦副会長から、第3回理事会以降に行われたみなし決議について、報告があった。全8件のうち榊原保険部長からの提案「在宅医療について」が取り下げられたことが報告された。事務局担当の入会審査については4件あったとのこと。

- ・林組織共済部長提案 新しい入会申込書の運用について(10/14提案・10/17承認)
- ・藤田学術部長提案 学術部副部長推薦(11/12提案・11/20承認)
- ・藤田業務執行理事提案 地区割り案および地区担当制度案(11/12提案・11/20承認)
- ・藤田学術部長提案 東鍼会共催について(11/12提案・11/20承認)
- ・栗田財務部長提案 東鍼会臨床鍼灸スポーツトレーナー共催金の扱い(11/13提案12/6承認)
- ・林組織共済部長提案 組織共済部副部長推薦について(12/5提案・12/7承認)
- ・榊原保険部長提案 在宅医療について(12/16提案12/16取り下げ)
- ・入会審査(提案された入会審査はすべて承認)

〔Ⅱ〕審議事項

1. 総務部より

①事業計画の件

秦総務部長より別紙のとおり報告があり、詳細についての確認があった。臨床鍼灸スポーツトレーナー研修会は、当師会の方向性を決めるために総会の際に、議題としてあげることになった。ワンコイン交流会は、予算が上がっていない。今年はゼロでよいのか？という質問があった。当初はなかったが、勉強会としてはこの指とまれプロジェクトに進化して、交流会は今期は予定がないのでゼロでよいという審議結果となった。地区割計画の実用化については、組織共済部の案件として、実行して行くという結論に至った。その他の計画は例年通りということで、併せて全会一致にて承認可決された。

②平成29年度の組織図(案)について

秦総務部長より、秦副会長および窪田副会長について新たに副会長の業務を変更する件が提案された。秦副会長は総務部長を兼任し、公益事業である広報普及部ならびに学術部担当の副会長に変更する。窪田副会長は、共益事業である組織共済部ならびに保険部担当の副会長に変更する。組織共済部と学術部の兼任部員として、吉田理事が任命され、肩書は庶務担当理事とする。また喜島理事は退任となる。本提案は全会一致にて承認可決された。

③平成29年度の年間スケジュール(案)について

秦総務部長より、別紙のとおり提案された。赤字のイベントは、事前に日程が重なっていたものをずらす対応とし、変更後の案に対して全員一致で承認可決された。

④合同委員会の設置について

秦副会長からの提案で、事業計画を立てる時点で、各委員が同じ場所で集まり意見交換ができる合同委員会を設けたいとの提案があった。＜日野相談役＞日本鍼灸師会の例を挙げて、部長だけで集まるのでいいのでは、そこにも理事の負担が増えるし、予算もかかるとの意見があった。＜清水＞特に学術部は、全員で話し合いをすることで士気が高まる。やるなら委員全員でやるべき。＜藤田＞学術は、自分が事前にとりまとめをしているので、部長だけで集まっても問題はない。合同でやるのは、事業計画よりも前の、プロジェクトを立ち上げる段階でやりたい。という意見があった。もっと、精査して、再提案をすることになった。

⑤平成29年度の会員郵送予定(案)について

秦総務部長から、前年度より1回多い7回という提案がなされた。今年度は郵送回数を減らすことで費用を削減につながった。今後も同様に頻度をなるべく少なめにする事で本提案は全会一致にて承認可決された。学術部や広報部の案内資料が優先される現状である。3月には、事務局から会費の引落しについて通知をすること、清水会長から、この指とまれの結果報告を送ることが提案された。2月実施分までの実施報告と、会員の感想をまとめて送付することになった。

2. 財務部より

①予算案の件

栗田財務部長から、来年度の事業計画案について資料に基づき提案があった。具体的には、会員数について過去数年間の会員数の推移および最近の学生会員数の推移をグラフで示し、その推移を考察した上で、実現可能なレベルとして現在の会員数236名から250名を想定したこと、各部より提出された予算を合算しており、活動予定をほぼ網羅した水準でできていること、事務局側経費についても現時点の想定を織り込んでいることの説明があった。さらに会の活動の活発化に伴い人件費を中心に引き続き経費先行型の予算組みとなっているため、各部の活動について全般的な引き締めが必要であること、事務局の残業時間が増加傾向にあり各部署の事務局の業務依頼について平滑化への配慮が必要であることについて説明がなされた。以上の説明を踏まえて栗田財務部長から、各部活動の詳細化はそれぞれさらに進めるとしても、全体としての活動概要はほぼ網羅できているので、この段階で来年度予算案として決議いただきたい旨の提案があった。本提案は全会一致にて承認可決された。

3. 学術部より

①関東ブロック圏内の鍼灸学校の優秀表彰者の学術講習会の無料化について

藤田学術部長より別紙のとおり提案があり、適用するには当日表彰状のコピーを持参していただくことが提案された。本提案は全会一致にて承認可決された。

②学術講習会、イブニングセミナーの参加費改定について

藤田学術部長より、別紙のとおり提案があった。本提案は全会一致にて承認可決された。

③東鍼会共催の診察学シリーズ専門の学術部員設置について

藤田学術部長より別紙のとおり提案があり、全員一致にて承認可決された。清水会長から、参加者を増やすには、今年度の取り組みでここがよかったという内容を参加者から聞いて伝えていくことだと意見があった。

④平成29年度の鍼灸臨床スポーツトレーナー研修会の開催について

藤田学術部長より別紙のとおり提案があり、全員一致にて承認可決された。

4. 広報普及部より

①平成29年度の災害鍼灸医療、及び支援研修について

1) 平成29年の災害医療について

萱間広報普及部長より別紙に基づき詳細な提案があり、参加費について修正を加えたのち全員一致にて承認可決された。修正後の参加費は、会員：5,000円、一般：8,000円、他師会会員：7,000円、共催師会会員：5,000円、未登録学生：5,000円、登録学生：3,000円となった。

2) 災害医療研修の終了証について

萱間広報普及部長より、別紙に基づき詳細な提案が行われた。2つの講座を受けると登録できるという案と、認定証は神奈川県のみが対象にするという案が、全員一致にて承認可決された。

②横浜マラソン2017について

萱間広報普及部長より別紙に基づき詳細な提案があり、各ボランティア活動について他師会事業との区別を明確にするという条件のもと、全員一致にて承認可決された。なお秦副会長より、マラソンボランティアの講習会は、事前に参加することが義務づけられているが、11/15イブニングセミナー予定講師が、スポーツトレーナーで、横浜マラソンご担当の朝日山先生に打診し、ここでも参加が可能の講習会とすることが補足説明された。

③平成29年度の市民健康講座について

萱間部長より別紙に基づき詳細な提案があり、災害を疑似体験してもらう案に鍼灸の体験コーナーを加えた案が、全員一致にて承認可決された。

④平成29年度の会報とACUMOの発行について

萱間部長より別紙に基づき詳細な提案があり、原案通り、全員一致にて承認可決された。

⑤この指とまれプロジェクトの会員外参加是非と参加条件について

清水会長より別紙のとおり提案があり、各理事より活発な意見交換が行われ、会場を事務所とした場合は会員外参加者の割合は20%以下であることが条件とされた。また会員外への参加費の徴収については主催者に一任することとした。本提案は、全会一致にて承認可決された。

⑥この指とまれプロジェクトの郵送に関する事項について

秦副会長および藤田業務執行理事より別紙のとおり提案があり、各理事より活発な意見交換が行われ、以下の案で原則としてメールによる周知のみとし、郵送のタイミングで提案会員から郵送希望があった場合には定額500円(印刷費相当)を徴収することとした。が全員一致で承認された。また、この指とまれプロジェクトの案内とメールアドレス登録を勧奨する文書を毎回送付すること、HPに掲載することも合わせて承認された。

5. 保険部より

①療養費適正運用研修会の開催日時

②療養費適正運用指導会の開催日時

③保険取扱い初心者講習会の開催日時

上記3案について、榊原保険部長より別紙のとおり提案があり、原案通り全会一致にて一括承認可決された。

④遵守誓約書の取り交わしについて

榊原保険部長より別紙のとおり提案があり、原案通り全会一致にて承認可決された。ただし会員への周知前に、当師会のスタンスを決める必要があるため、千葉相談役と調整しながら、進めることとなった。

6. 組織共済部より

①地区割区分について

窪田副会長より別紙のとおり提案があり、路線を参考に市町村で分けた案が、賛成多数にて承認可決された。

②GKカード、会員証、無料招待券の渡し方について

窪田副会長より別紙のとおり提案があり、基本的には事務局にて手渡しすることとし、他に学術講習会などの当師会行事でも対応することとした。上記にて対応できない場合は、会員自己負担にて郵送にて対応する。本提案は原案通り、全会一致にて承認可決された。

③業団説明会の対象鍼灸学校の選別について

窪田副会長より別紙のとおり提案があり、今年度より横浜医療専門学校と日本工学院八王子専門学校の2校へは行かないこととした。本提案は全会一致にて承認可決された。

④新会員名簿の作成について

林組織共済部長より別紙のとおり提案があり、入力項目を事務局と協議しながら進めることで、全会一致にて承認可決された。

⑤新入会員にお渡しするお祝いの品について

秦副会長より、新入会員に会の名入りのボールペンを贈る提案があり、実施することについて全会一致にて承認可決された。詳細については、追って秦副会長よりみなし決議が出されることとなった。

⑥新会員紹介者へのお礼状送付案

林組織共済部長より別紙のとおり提案があり、原案通り全会一致にて承認可決された。

⑦日鍼会青年委員会「全国お灸フェスツアー2017公募について」

林組織共済部長より公募を見送る提案がなされ、全会一致にて承認可決された。

7. 事務局より

①神奈川県鍼灸師会会長表彰の件

吉田理事より担当部署の確認があり、総務部担当、事務局作成が確認された。

②他師会の事業の対応について

清水会長よりマラソンのボランティアなどにおいて他師会と共催する場合、責任の所在を明確にすることが必要があり、当師会が共催するのは「横浜マラソン」と「湘南国際マラソン」であり、「丹沢湖マラソン」と

「小田原尊徳マラソン」は横浜マラソンの事前研修の場として参加させていただいているだけであるとの見解が示された。今後、共催にかかる金額などについては、神奈川県鍼灸マッサージ師会の朝日山理事と話し合い、混乱のないように配慮することとした。

8. その他

①第7回業務執行理事会の開催日について

平成29年2月22日(水)19:00より、当師会事務所にて開催することとなった。

②会員の傷害致傷に関わる事項について

標記案件にかかわる事項について、警察が提示したビデオを当会が確認し意見を述べることについて、会長に一任することが提案され、全会一致にて承認可決された。

次回、平成28年度第5回理事会の開催は、平成29年3月5日(日)18時から行われる。

以上で、すべての審議を終了し、理事会は閉会した。

(作成:秦宗広)

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

平成29年2月5日

代表理事 印

監 事 印

監 事 印